

# 宇土中高の今



宇土中高  
HP



宇土中高  
インスタ

## ともに成長を遂げる「学びと遊び」の交流

宇土中高生が地域の小学生と交流を深めている素敵な取り組みを御紹介します。

### 児童センターで毎月開催「学びと遊びの部屋」

宇土市児童センターでは、高校生が「ミニ先生」となって小学生の学習をサポートしたり、一緒に遊んだりする「学びと遊びの部屋」が宇土市主催で毎月1回開催されています。優しいお兄さん・お姉さんと、勉強や遊びを楽しみませんか？皆様の御参加をお待ちしています！



児童センターで毎月開催中

### 夏休みの実験教室「学びの部屋」

夏休みには「学びの部屋」が本校や地域の小学校で開催されます。こちらは宇土中3年生と宇土高生が先生役となり、面白い「実験教室」を通して小学5・6年生と学びを深めます。

中高生たちは、小学生が「なんでだろう!？」「わかった!」と笑顔を見せてくれる瞬間に大きな喜びを感じています。

小学生にとっては頼れる先輩との出会いの場、中高生にとっては地域貢献の楽しさや責任感を学ぶ場となり、双方にとって貴重な学びの機会となっています。



実験教室は特に盛り上がります



不知火研究班、実地検証の様子



メダカの研究の様子

## UTO Well-being 探究Award2026 が開催されました

宇土中高の生徒たちが着目した地域の課題について、科学的・論理的にその解決策を考えるSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の成果発表会「UTO Well-being 探究Award2026」が、7月23日(木)に熊本城ホールで盛大に開催されました。

会場では、宇土の特産品を生かした地域活性化案や、日頃の科学実験に基づく研究など、斬新なアイデアが次々と発表されました。

自らの「問い」に向き合い、自らの言葉で伝える姿からは、頼もしさと若い世代のエネルギーが感じられました。

宇土中高では、今後も地域とともに、未来のリーダーを育ててまいります。

## 地域おこし協力隊通信

## わたしのうと活動記

地域おこし協力隊って？  
都市部から移住し、地域の魅力づくりやお手伝いをする制度です。農業や観光、PRの支援など、地域の課題に取り組みながら、ここでの暮らしを楽しみ、定住を目指します。宇土地域おこし協力隊は、総勢10人で活動しています。

### 循環型マルシェ「ウトタカラ」今回は開催見送りに 対話重ね、準備に奔走したかけがえのない財産

こんにちは。地域おこし協力隊の原直樹です。私は「空き家活用」を軸に、地域の魅力再発見とコミュニティ活性化に取り組んでいます。

先日、網田コミュニティセンター「しとらす」で、空き家の残置物を資源として蘇らせる循環型マルシェ「ウトタカラ」の開催に向け、出店者を募集しました。諸条件により、残念ながら今回の開催は見送る形となりましたが、網田地区の皆様と開催に向けて何度も対話を重ね、準備に奔走した時間は私にとってかけがえのない財産となりました。



網田のお気に入りスポットです!!

空き家に新たな息吹を吹き込み、移住者と地域をつなぐ拠点作りや、資源を大切に地域活性化の挑戦はここからが本番です。ご協力をいただいた網田の皆様の温かい想いを胸に、この大切な企画を市内で必ず形にできるよう、一歩ずつ丁寧に進んでまいります。

真摯に向き合ってくださいました網田の皆様、本当にありがとうございました！

まちづくり推進課  
定住移住推進係所属

原 直樹

協力隊 mission

地域のみなさまと交流し、  
「楽しい空き家活用」を実践する



空き家に新たな息吹、地域活性化の挑戦本番へ  
大切な企画を必ず形に 網田の皆様へ感謝

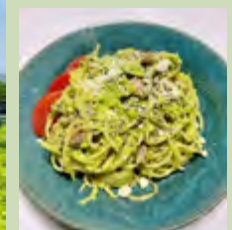
### A I は「一緒に考えてもらう」こと 情報伝えると活用法を提案

最近、AIが身近になってきました。私も普段から活用していますが、役立っているのは「答えを教えてください」ではなく、「一緒に考えてください」ことです。

耕作放棄地解消の業務では、草刈り後に現場の写真を見せて「この場所はどんな活用方法が考えられる?」と相談しています。航空写真や土壌の様子、生垣の有無、植生など、さまざまな情報を伝えることで、「ここを少し改良すれば、こんな活用も考えられる」と提案してくれます。

### 料理にもAI、食材も無駄なく 最後に判断するのは自分、上手に付き合いたい

また、私生活では料理に活用しています。「A、B、Cの材料を使ったレシピを2人前で提案して」とお願いすると、隠し味まで含めて考えてくれます。複数のレシピを提案してもらうこともできますし、使い切りたい調味料を組み込むことも可能です。わが家では、食材を無駄なくおいしく使い切るのに役立っています。



余っていたアボカドはパスタに入れる提案をしてくれました。「アボカドは加熱するな、トマトを必ず添えろ」と念押しされました(笑)。

ただ、AIの提案がいつも正しいとは限りません。最後に判断するのは自分です。便利な道具だからこそ、自分でも考えながら上手に付き合っていきたいと思います。

農林政策課 農林振興係所属  
福元 浩平

協力隊 mission

耕作放棄地の活用、  
宇土の特産品の発掘や開発